夕刊 磐城新聞
七月二十九日發行
發行所 磐城新聞 合資會社
（日曜祭日翌日休刊）

高原（上）

島田忠夫

□

淺間の山麓へ行つた。

輕井澤から電車に乗つて落葉松と白かんばの山を、チタ／＼とまるで遲い汽車のやうに登つて行く。

落葉松林が燒杭になつて黑く續いてゐる山火事の跡もあつた。

七月半ばといふのに單衣では肌寒いほどで山へかかつてから、しば／＼霧とも雨ともつかないのが、さつと吹き過ぎた、山の上の寂しい停留場へ幾度か停る。高原らしい草花が一めんに咲き、若々しい羊歯が簇がつて、そよいでゐるのも佳かつた。

□

信州と上州の國境標が立つ山つづきを下つてから、二つ目の停留場で電車を降りた。眺望のひらけた高原であるが、家も疎らにあるばかりで、白樺や栗や落葉松が葉を茂らしてゐる。

ここで車中一緒だつた四人の學生とも別れる。學生はキャンプ生活をする爲め六里ヶ原の方へ下りて行く人たちだつた。

こちらは竹内と佐藤と私の三人である。

佐藤は完全に幾日も山ごもりの出來るやうな格好を整へてゐるが、竹内と僕のは覺束ない。幸ひ行先に宿舍があるからいいやうなものの、隨分呑氣な登山者である。

□

郭公と鶯がしきりに鳴き交す。

その聲は閑寂なあたりにひびき渡つて、淸水のやうなすが／＼しさだ。淺間も白根の方も雨に曇つて見えぬ。この邊は未だ栗の花が咲かずに、青白く紺のやうに伸び立つてゐるのも佳い草原には野あやめが咲いてゐた。

暫くして、粗木で組立つた林間の山莊についた。

その夕は、番人の老爺が谷川で捕へたやまべの御馳走に舌づつみを打つた。夕食ののち雨の林間を歩いた冷たい裏川に入つて行水も使つた。

うつさうとした林間の暮色を、走るやうにたぎち流れる水は物凄い。夜は一層冷氣が加はり、雨は山莊をめぐつて降つた。私は着換のセルに羽織を重ねてもまだ寒い位であつた。

□

夜になつて二三の來訪者があつた。これは同じ一區村山莊に來てゐる東京の學生たちである。その一人の女性は、休みなく喋つた。私らは疲れた。そして口も重く、この人たちを早く避けたかつた。

雨、とほい夜鳥のこゑ。（つづく）

高月句抄（三）

山の井に映る葛葉の茂りかな　素洞
蘂蕈に水車の音やひと茂り　紅果
蕺だみの澤一ぱいの茂りかな　良亭
五六軒茂りの中の藥家かな　天仙
曙を茂りの中の灯かな　一歩
葛草の鳥居にたれし茂かな　霧笛
街樹茂る都大路や夕映す　耕影
扇風機にうつつなの夢まどかなり　天仙
色テープ舞ひ上るなり扇風機　良亭
扇風機ここ病院の白ベット　閑月
湯上りを扇風機背にくつろきぬ　耕影
うたた寝のうつゝに聞くや扇風機　霧笛
渡船場に行く細道や鳴く水鷄　天仙

學藝消息

○。○。△狐のわな（童謠集）酒井朝彥、島田忠夫、兩氏合著として今秋、東京兒童書房より刊行する。

△八幡秋月氏へ　地方色の濃厚なものなら拜見し度いと存じます。

△小濱牧泉氏へ　當分御期待に副ひ得ない見込です原稿は保存してあります。

○C生君、紫風生君、帆舟生君へ　同上

時代警句（イブセン）

○沈默は明白に虛僞を語るに均しきこと尠からず……
○言論の自由は予が眞に有意義なりとする唯一の公民權なり……
○予は自由の爲の鬪ひのみを愛す、自由を保有することは意とせず……
○幸運は常にそれを摑む勇氣あるものを惠むが如し……
○叡智を說く師は多し。されど自ら叡智を備ふるものなし……

7月30日

△明治天皇崩御、獨り我國民のみならず世界の皇室及人民追惜して措かず（明治四五）△支那婦人の耳輪禁止を命ず（昭和三）△我軍牙山を陷る（明治二七）△宗祇法師歿す、室町時代に於て名匠の名を擅にしたる連歌の巨はく、三善自然齋其人也、天子より『花の本』の號を授けらる（文龜二）

一日一禪

○誦經群羊來跪聽 習定鳥巢衣セツ中

濤談

元祿名妓傳

一三六席

小邑井小巴演
（宮野恒彥畫）

玉吉は作太夫を煙にまいて置いてサッサと座敷へ行つた、是から作太夫眞劍になつて桐屋の女將に談じ込む、ところが鍋島の御家中はキリ屋には唯一の上得意玉吉の性質を話しピタリ斷るは知つて居りますが、客の感情を害すのは稼業に取つて宜しくない 女『それは玉吉さんだ迚、木のまたから生れたものでなし、時めく島の御前の仰しやることを何處までもいけないと言ふ氣丈はありますまいが斯う云ふ事は今言つて直にとは纏まるものでありません、氣永く御前の眞實をお見せになつたら、屹となびく樣になりませう、マア／＼お任せなさいませ』と呑込むには呑込んだが、どうせ出來ない相談と思ふから、玉吉には渡りも着けず打ッちやつて置く、ところが嫌はれれば餘計にも思ひが增すのが此の道の情合、伊織は一切夢中になつて三日にあげず通つて來て玉吉を／＼と云ふが此方はいつも柳に風で、體よくあやなして居ます、彼是するうちにお房はいよ／＼突き出しとなりました、源氏名を花扇と申す即ち本編の題目の通り、突き出しの夜は仲の町へ積夜具積セイ籠で素晴らしい景氣、三浦やが此の女で一身代こしらえ上げようと云ふのだから、前例のない程立派な華美なことに致しました、其の前景氣も豪勢だつたが、外八文字で茶や廻りをする時の見物は、仲の町が割れる許りの賑ひ鍋島伊織が見て、是れが自分の抱妓をした、お房の果てだと知つたら果してどんな氣がしたでせう、けれども此の晩は伊織は仲の町へ足を踏み入れません、以せんは中萬字の九重と云ふ女のところへ、通つて居たがたまに中萬字吉を見てから、更に中萬字へ足を向けず、きり屋の二階で玉吉の顏を見るのを樂しみにして居りました、然るに玉吉が二三日は花扇花魁が突き出されるので、迚も引手茶やへ出て居る間があるまいとのことに、彼れの顏は見られぬ位ならば、遊びに往つたところで仕方がないと、遂にこの三四日來遊びに來ない、夫故花扇の突き出しを見られなかつたのでございます、扨て花扇は突き出し以來其日からお職が張れる程の勢ひ、引く手あま多と云つて五六日も前から茶やへ申込んで置かなければ迚も花扇の顏が見られぬ程の全盛となりました、又たま吉は始終花扇の側を離れず、全く姉と思つて萬事相談してゐるが、併し鍋島伊織の事は色里にはある習ひの並一通りのことだから別段話しもせず其儀に過ぎて居りました、スルト或晩のこと仲の町のこれも引手茶や、山口ともえから玉吉に口が掛つて來ました、此の山口ともえと云ふのは吉原では一ト云つて二とさがらぬ引手茶やで、川柳點にも、仲の丁野暮山むらやなどゝ讀み。と云ふのがある、なるほど口の字ともえの字を一緒にすればむらとなる、吉原のことに餘りくわしくない人が、ハ、ア山むらやと云ふのだなと讀んだ、山口ともえの軒提灯の前の景況が、直に川柳子の穿ちとなる、斯程な有名な茶やで其多くお大名衆などが、コッソリ忍んで來た家こゝから玉吉が呼ばれた、此頃は花扇に付切りで外の座敷へは出ない、他なら三浦屋の方で斷りを立てるのだが、兎に角山口ともゑのことだから宜しいと承知して出してやりました、たま吉は送りの箱やと共に山口ともゑのお帳場へ來て 玉『今晩は有難うございました』女『オヤ／＼玉吉さん能く來て呉れたねえ此の節は花扇花魁がお前さんを離さないと云ふので、迚ても來ては呉れなからうと思つたのだが、モウた客樣がお待兼で、およしが出て冗談話しでもしてお客樣を取繕つて居るのだよ、二階であんな大きな聲で笑つて居る』玉『お客樣はた二階……』およしの高笑ひの聲を便りに、上つて見ると驚くべし客は海賊の鳴門鳴右衞門……。

拈華微笑

組合で廿二萬圓。銀行分を想像すると恐ろしくなる
◇
スタート直前の

生ま卵。縣議選擧前の政友派同志懇親宴
◇
減俸率より手嚴しい米收豫想二割減

◇
お神酒の只飲み神罰覿面で豚箱入り
◇
人蔘れ稍伸びる本格の夏が來た

ラヂオ

……三十日（木曜）……

仙臺 JOHK

△前六、〇〇A ラヂオ操體
△六、三〇A 夏期英語講座（中等科） 井上思外雄
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理獻立 日用品値段
△一〇、三〇A 夏期講習（尺八入門） 吉田晴風
△正午A 時報
△後〇、〇五A 映畫物語（喧嘩商賣） 大養一郎
△〇、四〇A ニュース 氣象通報 告知事項
△二、〇〇A 家庭大學講座（日本演劇史） 早大講師 河竹繁俊
△三、四〇A 氣象通報
△四、〇〇A ニュース
△五、〇〇 講演（中尊寺改築に當りて） 文部省國寶鑑査官補 服部勝吉
△五、四五 今晝の番組豫告
△六、〇〇A （子供の時間） 兒童劇（月夜の小鳥） 原作…昭井猪一郎 JOAK唱歌隊
△六、三〇B 東西文學の比較（東西滑稽文學の比較） 文學博士 成瀨無極
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
△七、三〇 副業講座（東北に適する林産副業ナメコの人工栽培其の他） 林學博士 三村鐘三郎
△八、〇〇 俚謠（田植踊）
△八、〇〇B 放送喜劇（安全辨） 曾我廼家五郎一座
△九、四〇A 時報 ニュース 氣象通報 告知事項

菓子司
開店御披露
泉屋支店
藤田女學校隣

貸地
小名濱商事株式會社
平出張所
電話 六〇三番 五四一番

◎◎◎運動具と服裝!!!
榮冠輝く品質と價格のファインプレー
平驛前 マルカ運動具部 電話三十二番
海水帽。浮袋。新型豊富

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先ニ（松崎ニ）
三九二タクシーへ
（デンワ、ミクニ）

大漁亭
コカチ式ムシ釜使用 電話五一
四倉町仲町海盛座側
釜めし＝一人前 二〇錢
好評毎度御贔屓下サル
安イ、内容豊富、味のよい
釜めしをめし上つて下さい

同窓會通知
來る八月一日午前九時より第三十四回同窓會を開催す、此廣告を以て通知に代ふ
昭和六年七月
磐城佑賢學舍同窓會

打開は合理化あるのみです！
運輸の合理化は世界的定評のあるダッチブラザース高級貨物自動車を御利用になる事です。
◇使用車 ダッチブラザース 新フォード
ダッチブラザースは增車と共に八月上旬より一般御用命にも應じます。
入山採炭株式會社指定
並に一般運輸
貨物自動車營業
營業主 矢吹莊司
電話湯本一一九番

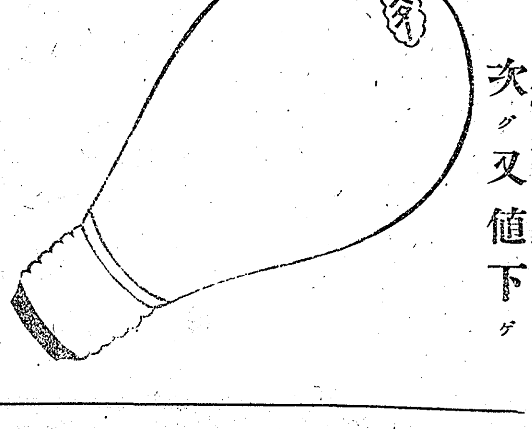
『夏』＝『海』……
夏は海に……
カフエーガールが待つて居る！
來れ 四倉サービスに
エロ百パーセント……！
カフエーサービス
四倉町新町
（女給さん至急入用）

開業
耳鼻、咽喉科、氣管、食道科、專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
增田耳鼻咽喉科醫院
（入院隨意）

夏服
◇輕裝上衣
黑セル 3圓50錢より
カシミヤ 7圓80錢より
◇白詰衣
1圓40錢より
◇ヅボン
白セル 2圓30錢より
パンピス 2圓50錢より
輕快な夏服の季節となりました。スマートな新製品が豊富に取揃へて御座ひます。
平二 あかや洋服店 電203

吉田眼科病院
平町紺屋町

貸切は◉
親しみあるサービスを以つて知られたる！
尼子タクシーへ
電六四〇番
主任 澤 正路

ガス入電球ノ値下ゲニ次グ又値下ゲ


十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三 大谷時計病院
眼鏡科
電話十九番

産業組合關係丈けで廿二萬圓の借金增加
昨今兩年の統計から覗いた
(石城郡下各町村の經濟槪況)

郡産業組合去月末現在の狀況は總數二十六組合中調査組合二十五、組合員七千八百八十八名、出資金八十三萬五千二百八十五圓、貸付金百三十二萬六百七十圓、借入金四十二萬三千七百二圓で昨年同期より人員三名、出資金四千四百三十圓、貸付金二十二萬二千五百二十二圓、借入金十五萬二千三百十五圓の何れも增加を示してゐる、因に信用組合平庶民金庫では左記の如く逐日業務の伸展に伴ひ從來の事務所では些か狹隘を感ずる事になつたので去る二十六日十五丁目から二丁目元百七銀行支店跡へ移轉した

(貸方) 六月末調査 單位千圓

科目	前年	本年
預金	一九	二八
貸附金	一三九	二八四
聯合會出資	五	七
其他合計	二〇一	三七四

(借方)

科目	前年	本年
出資金	七一	七七
貯金	四九	八六
一條三項	二七	六八
其他合計	二〇一	三七四

水入らずの談笑裡に同志の結束を固む
◇昨宵の政友派懇親會

平町に於ける政友派同志の懇親會は既報の如く昨二十八日午後六時から谷口樓に於て開催したが出席八十餘名發起者代表井上郡部會幹事長の開辭に次ぎ今回の縣農工銀行株主總會に於て混亂また混亂の裡に同志の爲神籌鬼劃を廻らして初期通り重役推薦の機宜を愆らなかつた縣支部幹事長鈴木辰三郎氏は最初から到底勝算無き民政派が故意に會場を混亂に陷れたる實況から最後の重役決定に漕ぎ着けた迄の經緯を述べ我々同志は何事にまれ自制を缺いた斯の種の行動を愼み度いと附言して挨拶を了りそれより水入らずの宴に移つて隔意無き歡談を交へ和氣靄然たる裡に八時半散會した

閑院宮殿下御通過
今曉の上り急行にて

閑院元帥宮殿下には樺太より御歸還の御途中今曉二時二十二分の上り急行列車で平驛を御通過あらせられた

光畫藝術作品懸賞募集
○○○○○○○○○○○ JOHKの放送三週年記念事業

東北文化開發の使命の下に生れた仙臺放送局は地方に於けるラジオファンの理解により漸次健實なる歩みを續け早や放送開始三週年を迎ふる事になつたので右記念事業として左記の通り廣く光畫藝術作品の懸賞募集をなす事になつたが海に山にカメラマン活躍の時季に入つた事とて多數の應募あるものと觀られてゐる

(規定抄)

一、風景、人物、靜物等何たるを問はず、畫面にラヂオ受信器或はアンテナ等を配せるもの。

一、大きさはキャビネ以下密着燒引伸等技法自由一人幾枚にても差支なし。

一、印畫は臺紙に貼付せず裏面に畫題、住所、氏名各撮影場所を記入の事。

一、締切八月三十一日、發表九月十日。

一、印畫は仙臺放送局宛送付の事。賞一等二十圓以下十四點

木炭組合評議員會

濱三郡木炭同業組合では來月八日午前十時から平町各種團体事務所樓上で評議員會を開催し左記事項に就て協議すると

五年度組合費決算並に業務成績報告、五年度組合職員給與金歲入出決算報告、組合職員一時給與基金積立報告

結局二割內外減
郡下米收豫想つく

先達中の氣紛れ天候から郡下に於ける稻作は各方面にモチ病、黄斑性萎縮病が發生し分蘖本數、草丈伸長共に頗る不良で天候回復しても到底減收は免かれぬものとして今秋の收穫を懸念されて居たが昨今漸く陽氣が回復したため極めて順調に成育しその被害も豫想した程ではなからうとの事で關係筋では引續き詳細調査中であるが結局既往七ケ年の郡下生產米平年作十六萬五千石より約二割位の減收は免れないものと觀られてゐる

山間部夏蠶收繭一萬貫內外の豫想
天候恢復で愁眉を開く

川前、三坂、永戸村の夏繭狀況は目下三眠前後であるが過般掃立當時より二齡前後に掛け天候不順で非常に濕度が多かつたため養蠶家は溫度調節に相當氣を揉み前途を憂慮されてゐた處十七日頃から漸次天候が恢復したゝめ經過頗る良好で始めて愁眉を開くに至つた尙總收繭量は昨年より一割增の一萬貫と觀られて居る

一兩日來の照りで漸く本格的に!
各濱の海水浴氣分
あぶらが載つて來た

一汽車毎に吐き出される人達は蟻の樣に海岸に集まる晴れた一兩日來の海の人出きら／＼する砂濱に花の樣な紅、紫の日傘。強い色彩の海水着と帽子、こゝではすべてがモダンな色と形を見せてゐる、高い櫓から飛び入れば海の底は鏡のやうに青い。小さな魚がすばしこく走る。泳ぎ疲れて砂に背を干す男と女の群は海豹のやうである、夜は花火と餘興場のシネマ、香具師の口上に人だかりのする。傍では笑ひくづれる村相撲。遠くで盆踊りの太鼓も聞こえる。四倉、小名濱の海水浴氣分も一兩日來の照りにやつと本格的にあぶらが載つて來た

平町新風景
何故の濱遊び
華胥の國に遊ぶ愛の結晶
兩親の負んぶ受難

特に所謂官吏の尊嚴を傷けない爲に何級俸だなんて野暮臭い說明はぬきにしませう。要するに國庫納金と規約貯金と宿直室で一ぱいやつた割り前とマルトモの本代支拂とズボン代の殘りを支拂つた殘りの金額を持つて歸り其れから臺所關係の一切を支拂つて殘つた若干が來月二十一日迄支持せねばならない豫算の金額なんです。

0

四倉では單に鰹の煮つけ位を買ふ事にして訓い院の生徒のアタマの樣なお結びを八つ程拵えたんです。云はずと知れたパパ、ママと飛びつ火の長男とサッポの娘と以上一家眷族四人の兵糧なんです。

0

六時の金が鳴る頃には悉皆お仕度が出來上つてサッポ娘を負んぶつたパパ、飛びつ火の手を引いたママは朝の臨時で平から乘つたんです、此の際コンパクトや蓙口や脫脂綿少々などを入れたハンドバックは如何にも氣の利いた持ち物なんですがメリンスの風呂敷を透して明らさまにそれと認識出來る訓盲院のアタマ八つは衆人環視の網棚に餘りにもグロテスクな點景を見せたんです。

0

ソマトーゼを飲まぬ人のサンプル見たいな狀胸の弱々しい阿とうさんと其とは反對にセメン樽の樣なカアチャンと而して其間の一大傑作たる一男一女とは砂に寢ころんだりオゾーンを吸つたり鰹の煮つけで八つの訓盲院を片づけたり開放された日曜の一日を綏くりと濱の享樂に過ごしたんです。

0

歸りはお結びこそ無くなつたれ、濡れた衿やアッパッパやらで往き同樣チットモ荷物が減らないばかりか二つの愛の結晶は脫衣場を出る早々歩き乍ら居眠りを始めたんで一人づゝ負んぶしたんです。四倉の町から停車場迄、平の停車場からお城山のウチ迄。實際夫婦はヘトヘトになつちやつたんです。

0

之から見れる平町新風景

弟妹を囮に使つて前借を踏み散らす
赤井の中村勇吉檢擧さる

赤井村中村勇吉は本年一月中同村熊谷運四郎と共謀し內郷村綴瀨戶吉郎右衛門の周旋で自分の弟富吉を千葉縣千葉郡睦村山崎衛輔方の雇人として住み込ませ前借金二百圓の內五十圓を受取り十一日目に逃走せしめ一方磐崎村上湯長谷小野田後藤忠助と共謀妹きみをも前記千葉郡二宮町林瀧之助方へ住み込ませ之亦前借二百圓中五十圓を受取つた上數日後に逃走せしめたと云ふ理由で雇主から訴へられ目下平署の取り調べを受けてゐるが同人は之の外にも弟妹を囮にしては之の種の惡事を働いた事があるのでは無いかと睨まれてゐる

神谷消防組の兒童愛護施設

神谷村消防組では此程役場に於て幹部會を開催協議の結果村內適當の場所に兒童の水泳場を設け危險なる場所には危險豫防の標札を設置する事、池沼、等危險なる箇所に柵又は覆蓋を設ける事、人家附近又は交通頻繁なる路傍から毒草『カハラウツギ』を除去する事、夏季衛生を督勵する事を決議した

好間の百八十名が新舞子へ耐熱行軍
在鄉軍人と青訓生
||來月二日決行||

好間村在鄉軍人分會及青年訓練生百八十名合同の新舞子行き耐熱行軍は來月二日行はれるが當日は東西兩軍を編成午前七時同村小學校を出發する在鄉軍人の東軍を西軍青訓生が追擊しつゝ磐中グラウンドに於て第一戰を交へ平縫街道を經て玉山溫泉へ向ふ戰陣行軍を行ひ乍ら午後一時新舞子海岸に到着と共に閉戰同所に於て海水浴をなし夕刻歸村の豫定であると

ラヂオ檢査
來月の巡回日割

仙臺放送局では特殊サーヴイスとして毎月各地にラヂオ機器の無料巡回診查所を開設して聽取者の利便を圖つてゐるが來月中の開設場所は次の通りであると

△十二、十三兩日 湯本町湯本郵便局長宅

△十四、十五兩日 平町、丸友書店方

△十六日 植田町、植田郵便局長宅

△十七日 江名町、江名濱漁業組合事務所內

町村事務指導講習
平、植田で開催

郡町村吏員事務指導講習會は來月十五日より四日間の豫定で開催するが講師は小林地方課長で十五、六植田十七、八平の日割であると

お神酒に醉つて通行人に暴行
笑へぬナンセンス
祭り當て込みの浮浪人

當時住所不定無職平町五丁目十三生れ大河內政治郎(三六)は昨二十八日午後九時頃五丁目淡島神社祭典に出掛けお賽錢を上げて一杯の神酒に有りついた處腹の虫が承知せず引續き賽錢を上げた風を裝つては御神酒をねだり彼此二升餘りも平げて散々世話人を手古ずらした上通行人に暴行を働かんとして居るのを平署員が發見檢束さめるを待つて嚴重說諭の上今二十九日放還された

△當時住所不定無職西白河郡稻田村大字岩淵帽子洗濯業有馬盛榮(三三)は同樣淡島神社祭りの雜踏中洗濯藥と稱し水に等しきものを販賣して居るのを平署員が發見詐欺未遂として同署で取り調べ中

農事講演會

農事試驗場石城分場では今二十九日山崎技手の秋作蔬菜(午前)郡山本場川上技師の二毛作蔬菜栽培(午後)の講演會を開催中堅農民並に一般をして聽講せしめた

一粒種の伜に病まれ飢に瀕する哀な老婆
四倉町當局で救濟考慮中

四倉町字仲町一三四厚美トリ(五五)は杖柱と賴む一粒種の淸心(三二)が去年の師走半ばからドット病の床に就いた爲老の身のどうする事も出來ず其の日の糊口に窮して居るのを同町共濟會が見るに見兼ねて之れ迄少しづゝ金錢食糧を惠んだが最近益々窮狀に陷つたので仲町青年團でも過般若干の救濟をなした外町役場に於ても之れが救濟方を考慮中であると

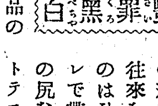
ロロロロロロ 故郷だより發行 磐崎村

役場兵事主任吉田正治氏は吏員と協力し『故鄉だより』と題する印刷物を作製し滿洲守備派遣軍人に送る事となつた

ロロロロロロ 江名少年消防發會式

江名町少年消防隊の發會式は明三十日午後一時から同村小學校で擧行すると

艶罪黑白



◇苟くも賣品の藝者ぢやないかタトイすぐ近所の風呂屋に出掛けるにしても瓢簞の眞ん中をくゝつた樣な格好の細紐一本で、往來を歩いてるのはひどい◇アレで帶のない女の尻なるものはトテモ偉大なものだ、自動車のボディの尻位はあるだらう、それを振り廻して狹い新田町を濶歩するのだから正に百鬼晝行と言ふべしか◇是から暑くなると肌着にお腰で歩くだらう、ナント云ふザマだ、敢て告ぐ、藝者屋のおかみたるもの須らく警告を發すべしだ。

○……○

醫師の來る迄
パンフレット 淸野女史の

平町南町平看護婦會長淸野キヨ子女史は過般出身地なる泉村女子補習科生徒の爲め一場の通俗衛生講話を試みたが此程その內容を一冊に纒めた『家庭衛生と其の智識。醫師の來る迄』なるパンフレットを發行し各方面に頒布した

嘔いた場合、乘物に醉つた場合、毒茸等を喰ひ又毒藥を飲んだ場合、体溫及檢溫器の智識、胃痙攣の手當、腦充血、腦貧血溺者處置、火傷の場合、外傷に對する應急處置、見舞客としての心得の以上十一章に分けてある

四倉町交通量

去る二十七日の交通安全デー當日に於ける四倉町の午前七時より午後七時に至る交通量は次の如くである

	人	牛馬	自轉車	自動車
久濱國道	3,511	335	558	75
新町	3,018	381	1,032	257
仲町	2,407	285	386	46
驛通	999	241	466	82
町頭	1,556	481	657	173

借用品を賣却
そら涙の男を訴ふ

內郷村鬼ヶ澤一〇〇無職前科三犯佐藤竹志(三三)は去る五月中生活に窮し同村同字四五山谷繁次方に至り穀屋から白米三升を借りるため擔保に供すべく銀側時計一個價格七圓を借り受け其儘他に賣却したので今二十九日山谷から平署へ告訴された

大河內來る
近日中平館に

日活の大河內傳次郎、入江たか子、高木永二、岡崎夏子其他一行は近日中平館に乘り込み地方ファンに暑中見舞の挨拶をすると

ロロロロロ 四倉校納凉會

四倉小學校の兒童納凉會は明三十日午前九時より同校內に於て開催すると

往來

△菅原磐炭礦業所長 聯合會の北海道礦業視察團に加はり旅行中の處昨二十八日歸山

△大貫入山副所長 後備召集に應じ中野電信隊在營中であつたが今二十九日除隊明三十日歸山

△鈴木政友會縣支部幹事長 今二十九日午前十一時十八分平發磐越線にて歸縣

右本人ノ申出ニ依リ解庸致シ爾今當店ト一切關係無之候此段謹告候也

堀久次郎

平町新川町 (上) 長材木店

お醬油は……ヤマフル

味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品

鹽屋 山崎合名會社

福島縣平町 電話(營業部一〇番 本店二七番)

診察時間繰上

◎受付 午前七時より

◎宅診 午前八時より

但し急患者は此限りに非ず

內科一般 醫學博士 難波 難波醫院

平町新川端(釜屋新宅向) 電話五〇二番

(入院需に應ず自炊の便あり)

一圓十錢のフランス マルソー會社元詰

マルソー・ブランク マルソー・ルージ 生葡萄酒

優良にして安價賣行き飛ぶが如し

平二 西村屋藥店 おはなし 三番

◎レコード破りの 石炭大廉賣!

(磐城炭礦二等炭) 正味十貫目一俵 金卅錢也

圖品ガ良ク『値ハ安ク』ヲモットートスル當店ハ此度超破格ノ格安石炭ヲ販賣開始致シマス

圖値ガ安クトモ品ハ惡クハアリマセン

◎配達ハ一俵ヨリ致シマス

御注文は 電話二三七番

平驛前 阿部石炭商店